

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
平塚・大磯・二宮地域	平塚市、大磯町、二宮町	平成20年度～平成26年度	平成20年度～平成26年度

1 目標の達成状況

(ごみ処理)

指 標	現状(割合1) (平成21年度)	目標(割合1) (平成27年度)A	実績(割合1) (平成27年度)B	実績B /目標A	
排出量	事業系 総排出量	19,656 t	18,674 t (-5.0%)	22,556 t (14.8%)	120.8%
	1事業所当たりの排出量	1.58 t	1.50 t (-5.1%)	1.81 t (14.6%)	120.7%
	家庭系 総排出量	t	t ( )	t ( )	%
	1人当たりの排出量	kg/人	kg/人 ( )	kg/人 ( )	%
合 計	事業系家庭系総排出量合計	t	t ( )	t ( )	%
再生利用量	直接資源化量	t ( )	t ( )	t ( )	%
	総資源化量	t ( )	t ( )	t ( )	%
熱回収量	熱回収量(年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	%
減量化量	中間処理による減量化量	t ( )	t ( )	t ( )	%
最終処分量	埋立最終処分量	t ( )	t ( )	t ( )	%

目標未達成の指標のみを記載

(生活排水処理)

指 標	現状(割合1) (平成21年度)	目標(割合1) (平成27年度)A	実績(割合1) (平成27年度)B	実績B /目標A
総人口				-
公共下水道	污水衛生処理人口			%
	污水衛生処理率又は污水处理人口普及率	%	%	%
集落排水施設等	污水衛生処理人口			%
	污水衛生処理率又は污水处理人口普及率	%	%	%
合併処理浄化槽等	污水衛生処理人口			%
	污水衛生処理率又は污水处理人口普及率	%	%	%
未処理人口	污水衛生未処理人口			%

目標未達成の指標のみを記載

## 2 目標が達成できなかった要因

- ・景気の緩やかな回復により経済活動が活発化し、事業系可燃ごみの排出量が増加していると推測される。
- ・多量排出事業者の把握や指導を実施していない自治体があったことや、過去の指導から年数が経過しており効果が薄れてきていること、事業者に対して具体的な廃棄物の減量化や資源化及び適正処理等について指示していなかったこと等が要因と考えられる。
- ・平成27年度は台風等やむを得ない影響により事業系ごみとして収集している海岸漂着物が著しく多かったことも増加の要因として考えられる。

## 3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 平成32年度まで

- ・多量排出事業者への指導を実施していない自治体は排出量等のデータを分析して多量排出事業者を特定し、直接指導を開始する。
- ・多量排出事業者への指導を徹底するとともに定期的に指導を行い効果を高める。
- ・多量排出事業者だけでなく小規模の事業系一般廃棄物排出事業者に対しても、生ごみ処理機の斡旋等により減量化及び資源化を促進する。
- ・ホームページ等を活用して事業者に対し、「事業系一般廃棄物」並びに「産業廃棄物」の分別及び適正排出の徹底に関わる周知を図る。

(都道府県知事の所見)

改善計画に記載された改善策である多量排出事業者への指導の開始及び指導強化並びに小規模事業者への減量化及び資源化の促進については、いずれも、排出事業者の適正排出を促進する点で事業系ごみの排出量削減に資するものと認められる。

ただし、事業系ごみの排出量は、景気動向に大きく影響され、計画的な削減が困難な側面があることや、特定した多量排出事業者への定期的な指導の効果を検証し、指導内容等を適宜修正することにより、目標達成に向けて着実に取り組まれない。